

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	平成 31年 3月 27日
契約業者名	阪神高速技研(株)
契約業者の住所	大阪府大阪市西区阿波座1-3-15
業務の名称	システム運用管理業務(平成30年度)
業務場所	阪神高速道路全線
業務種別	(その他)
業務概要	業務に係るシステム、 データ等の運用管理
業務期間(自)	平成 30年 3月 23日
業務期間(至)	平成 31年 3月 31日
契約金額	334,540,800 円
変更金額	40,813,200 円 増
変更後の契約金額	375,354,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

システム運用管理業務（平成30年度）第1回変更理由書

1. 情報システム管理業務（平成30年度）

第3章 業務内容

3-2 業務内容

9) 交通統計システムの運用管理

9-3) GIS ライセンス等の更新【追加】

交通統計システムのうち、リアルタイム事故リスクシステムでは WebGIS として GoogleMapsPlatform を使用しているが、使用にあたりライセンス及びサポート保守の更新が必要となるため追加する。また、ソフトウェアのデジタル署名に用いるコード証明書についても更新時期となるため追加する。

12) VOC システムの運用管理

12-3) 過去データ登録【追加】

運用開始に際してセキュリティアセスメントを実施する必要が生じ、各担当部署でのお客さま対応等について VOC システムへの入力が制限されたことから、お客さまの声データをサーバーに登録する作業を実施したものの。

12-4) 検証環境構築【追加】

情報セキュリティ関係者会議にて機器等の操作ミス等を充分配慮すべきことが確認されたことから、社員に対して操作説明や操作訓練等を実施するためシステム検証環境の設定を実施したものの。

12-5) 情報セキュリティアセスメントの実施【追加】

VOC システムについてはすでに構築されているが、平成 31 年度に予定している情報伝達機能の運用開始にあたり、個人情報のセキュリティ関係者会議にてアセスを実施すべきの方針が示されたことから、アタックテストや第三者インタビューによりセキュリティアセスを実施したものの。

3. モバイル端末向け道路情報提供業務（平成30年度）

第3章 業務内容

3-8 出口閉鎖情報の提供に関する改修【追加】

「阪神高速はしれ Go!」で提供している出口閉鎖情報は、JARTIC 電文を用いている。一方で、阪神高速 Twitter での出口閉鎖情報は交通管制電文を用いて提供することとなった。Twitter からのリンク先が「はしれ Go!」となっていることから、情報に齟齬を生じさせないため、交通管制電文を用いた情報提供に運用を変更するもの。

3-9 システムの冗長化【追加】

「阪神高速はしれ Go!」を構成している各々のサーバーは単一サーバーで稼働している。各サーバーは、単一障害点となる可能性があり、何れかに障害が発生した場合、「はしれ Go!」のサービスを正常に提供できない状況となるため、各サーバーについて、提供している機能に応じ、仮想サーバーの冗長化を行うものである。

8. Twitter を用いた情報配信業務（平成30年度）

第3章 業務内容

3-7 Twitter 情報提供サービスの機能改良【追加】

- ・全線一斉規制時の一括つぶやき対応

全線通行止めの際に、路線毎に規制開始のツイートが配信され、情報量が多くなるため、全線通行止めの旨を一括で配信する機能に改良を行ったもの。

- ・出口ランプ規制情報のつぶやき機能

当初、JARTIC 電文を利用し、規制情報の配信を行う予定であったが、出口ランプ規制情報のみが JARTIC 電文に含まれておらず、管制電文から規制情報の配信を行う機能を追加したもの。

- ・同規制を二重でつぶやき排除機能

規制のキロポスト等の調整を行った場合、同規制であっても JARTIC 電文では新たな規制として配信されるため、それを Twitter 上に配信しないようにするもの。

3-8 JARTIC と交通管制データのチェックツール構築【追加】

誤情報の配信を早期に発見、原因分析を行うため、JARTIC から配信される道路交通情報と交通管制システムの道路交通情報を、時間・場所・事象に基づき突合せし、差分の確認と差分の可視化を行うチェックツールを構築したもの。

第5章 その他

5-1 成果品の提出【変更】

機能改良、チェックツール構築に際して、新たにソースコードを成果品として提出するもの。

以 上